

**【単元目標】** A(2) 2位数の減法について、2位数の加法をもとに、位ごとに分けて計算の仕方を考え、筆算で計算することができる

**【単元がつながる内容】**

2年 たし算とひき算の筆算, 2年 100より大きい数, 3年 たし算とひき算の筆算

**【単元に関わる既習内容】**

1年 ひきざん, 大きな数  
 ・10いくつかから1位数をひいて, 差が1位数になる繰り下がりのある計算, 何十と何十の加法の逆の減法, 2位数と1位数の減法(繰り下がりなし)  
 2年 2けたのたし算  
 ・一の位が繰り上がる2位数までの加法の計算原理, 方法, 筆算

**【児童の実態】**

- だいたいの児童が, 一の位が繰り上がる2位数までの加法の計算原理, 方法が分かり, 筆算ができる。
- 筆算や操作の過程を, 算数の言葉を使って説明するのが難しい児童がいる。
- 引く数の認識のない子が, 引けないときに除数から引いたり, 繰り上がりを忘れてたりする。

二次元の表を習得する授業

**⑧ 計算のたしかめ【生かす】**

減法の答えに減数をたすと被減数になることを調べ, 確かめることができる。  
**【考・知】**  
 ひき算の答えにひく数をたすと, ひかれる数になる。ひき算の答えが正しいかの確かめに使える。

**⑨ たしかめ問題【生かす】**

基本的な学習内容を理解しているかを確認し, それに習熟する。**【知・考】**  
 ひき算の筆算をしたり, そのわけを説明したり, 確かめに使ったりできた。

**【単元後の児童の意識】**

ひき算の筆算は, 位を揃えて位ごとに計算する。一の位が引けないときは, 1つの10のまとまりを10のばらにして, 計算する。ひき算答えにひいた数をたしてひかれる数になることを使えば, 確かめができる。

繰り下がりのある場合を考え, 筆算をする授業

**⑤ 2位数-2位数で繰り下がりのある計算【考える】**

十の位から繰り下げる2位数の減法の筆算の仕方について, 位ごとに分けて考えることができる。  
**【考】**  
 一の位から引けないときは, 十の位から10のまとまりを1つ一の位に移し, 10このばらにしてから計算するとできる。\_\_を「繰り下げる」とい

**⑥ 「何十」-2位数の計算【考える】**

既習の筆算をもとに, 被減数の一の位が0の場合の筆算の仕方を考えることができる。**【考】**  
 ひかれる数の一の位が0のときも, 十の位から一繰り下げて, これまでと同じように計算すればでき

**⑦ いろいろな場合の筆算の仕方を理解し計算する【活用する】 (本時)**

答えが1桁になる計算や2位数-1位数などの繰り下がりのある2位数の減法について, 筆算の仕方を理解し計算できる**【知】**  
 位を揃え, 一の位が1の位が引けないときはたし算もひき算も, 位を揃えて位ごとに計算する。繰り上がりは, 10このばらを1つの10のまとまりにしていくことで, 繰り下がりはその逆のことをす

位ごとに分けて計算する考え方で筆算をする授業

**① 「何十何」-「何十」の計算【つかむ】**

2位数の加法の計算の仕方をもとに, 「何十何」-「何十」も10のまとまりとばらに分けて計算できることを見いだすことができる。**【考】**  
 加法のときと同じように, 十の位と一の位を分けて考え, 位ごとに計算すればできる。

**② 「何十何」-「何十何」繰り下がりがない計算【考える】**

数の構成に着目し, 繰り下がりがない2位数の減法の計算の仕方を考え, 説明することができる。**【考】** 2けたのひき算は, 位ごとに分けると, 10のまとまりとばらの数を考えれば, 10までのひき算を使って計算することがで

**③ 繰り下がりがない2けたの筆算【知る】**

繰り下がりがない2位数の減法の筆算の仕方を理解し, 計算できる。**【知・技】**  
 2けたのひき算の筆算は, 位を揃えてひかれる数を上, ひく数を下に, -と線を書いて, 一の位から順に計算をして答えを書くのだ

**④ いろいろなひき算の筆算【生かす】**

答えに空位ができる計算や2位数-1位数などの減法について筆算の仕方を理解し, 計算できる。**【知・技】**  
 数字は位を揃えて書く, 答えは, 一の位が0の時は書く, 十の位が0のときは書かない。次は, 繰り下がりのあるときの筆算をしたい。

◆本時のねらい 答えが1桁になる計算や2位数－1位数などの繰り下がり乃ある2位数の減法について、筆算の仕方を理解し計算できる。

◆本時の展開 (7/9)

	学習活動と児童の姿	指導上の留意点
つかむ	<p>1 問題 [7]提示 [あ]86－7, [い]30－24, [う]42－37の筆算の仕方を考えましょう。</p> <p>2 課題づくり</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>いろいろなひき算のひっ算のしかたを考えよ</p> </div> <p>&lt;ちがうところ&gt;</p> <p>[あ]前時は2桁－2桁, 本時は2桁－1桁。以前の2桁－1桁は, 1繰り下げなくでもできたけど, [あ]は必要そうだ。</p> <p>[い]前時に似て何十－何十何だけど, [い]の答えは1桁になりそう。</p> <p>[う]2桁－2桁でも, 答えが1桁になりそう。</p>	<p>◇目的をもって問題解決に向かえるように, 前時までの問題を確認してちがいをを見つけられるようにする。</p> <p>○ノート状またはブロック操作をしながら, 説明をする。書き方(ブロックの置き方)どの位から計算するか, 1繰り下げる理由, 答えの書き方を押さえるようにする。</p>
考える	<p>3 [あ], [い], [う]を個人で追求する。→ 4 ペアで確認する。 → 5 全体で確認する。</p> <p>① まず, 86－7を, 位を揃えて書く。 計算は, はじめに一の位をする。6から7は引けないので, 十の位から1繰り下げて10にする。十の位は, 8から1繰り下げたので, 8を消して7にしておく。一の位は, <math>16 - 7 = 9</math> (<math>10 - 7 + 6 = 9</math>)なので, 9と書く。 次に, 十の位の計算をする。7からひく数がないので, 7と書く。前に繰り下がりのない筆算のときにやったから。 だから, 答えは79。</p> <p>② 十の位を計算して0のときは, 0を書かないことを確認する。 ・例えば, 5は05と書かないから。</p>	<p>○ペア交流の指導</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・順序を表す言葉を使いながら, 相手が理解できたかを確認める1往復の交流をめざす。分からないことがあれば質問し, 分かったら伝えるようにする。</li> <li>○全体交流では, 1繰り下げる意味を, 十の位にある「10のまとまり」1つを, 一の位に移して, 10の「ばら」にするなどと, 言葉やブロック操作等で確認する。</li> </ul>
深める	<p>6 まとめ</p> <p>深めの発問 たし算とひき算の筆算のしかたで, にていているところをまとめよう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>たし算もひき算も, 位を揃えて位ごとに計算する。 たし算では, 一の位で10ができたなら1繰り上げ, ひき算では, 一の位の計算でひけなかったら, 1繰り下げてきて10にするから, よこの位に10のまとまりを動かすところが</p> </div>	<p>☆加法と減法の似ているところを探すときに, 自ら求め, 自分の言葉で表現しようとするよさに気付く。(自己啓発力)</p>
まとめる	<p>7練習問題をする。</p> <p>鉛筆問題 10, 11, 12</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>評価規準【知識・技能】答えが1桁になる計算や2位数－1位数などの繰り下がり乃ある2位数の減法について, 筆算の仕方を理解し計算できる。</p> </div> <p>○鉛筆問題の青○の問題を教師が確認し, 評価する。</p>